

令和6年度 元石川高等学校 不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
① 法令遵守意識の向上	職員行動指針の遵守し、公務員としての自覚を持った行動の徹底。	朝の打合せ等で新聞記事を活用し、事故・不祥事事例を教職員に伝え、教育公務員としての自覚を促し、自覚とモラルの向上を図り、未然防止に対する注意喚起を行った。不祥事防止会議では、啓発・点検資料等を活用し、職員が講師となった研修を実施し、不祥事防止に係る意識向上を図った。管理職との個別面談を通し、コミュニケーションを大切にした風通しのよい職場づくりを進めた。
②職場のハラスメントの防止	パワハラ・セクハラ・マタハラ等の未然防止。	教育委員会からの通知や啓発・点検資料等を活用し、事例を基に注意喚起を行い、自分の価値観や意見を一方的に押し付けることがないよう、また、同僚に対する思いやりを持った言動をすることを確認した。「自死」をテーマに人権教育研修を実施し、人権感覚の醸成と人権意識の向上が図れた。
③生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	生徒の人権尊重。わいせつ・セクハラ行為の未然防止。	全職員で職場のハラスメント防止の徹底に努め、自分自身の行動を振り返ることで未然防止につなげた。また、職場における適切なコミュニケーションを心掛け、相談しやすい環境を作ることで未然防止を図った。
④体罰・不適切な指導の防止	生徒理解に基づく指導の推進。体罰、不適切指導の未然防止。	日頃から生徒理解に努めとともに、教育相談コーディネータを中心に生徒情報の共有を図り、丁寧で強い対応を行った。また、体罰や不適切な指導に関する意識啓発に努め、社会情勢の変化に即した人権感覚を持ち、言動に配慮することで未然防止に取り組んだ。
⑤入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る点検体制の確立、確実な業務遂行。	出願システム、採点システムなどのICTの活用や、入選要項の作成にあたり、基づいて間違いのない業務の徹底に努めた。成績処理関係書類の作成及び取扱いについては、研修や日々の注意喚起を通して点検や確認の徹底を図り、人為的ミスが生じても事故につながらないように努めた。進路関係書類の作成では、複数チェック体制で適切な処理を心掛けた。
⑥個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	生徒の個人情報の管理及び情報セキュリティ対策の徹底。	教育委員会からの通知や啓発・点検資料等を活用し、教務手帳や個人情報の管理及び誤廃棄防止の徹底に努めた。電子データの取扱いには特に注意を払うよう職員への注意喚起を行った。
⑦交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転禁止の徹底、交通法規の遵守	酒酔い・酒気帯び運転禁止の徹底、交通法規の遵守。	県の通知や啓発・点検資料及び交通安全週間等の通知を基に全職員で交通事故発生時の未然防止及び酒酔い、酒気帯び運転の根絶、交通法規遵守の意識の向上に努めた。万が一、事故が発生した際の適切な対応について確認を行った。
⑧業務執行体制の確保等	教科及びグループ業務の情報共有、業務体制の推進。	Teamsによるファイル管理や打ち合わせの効率化により、業務の負担軽減を図るよう努めた。各業務のマニュアルを整理して、次年度への引継ぎが円滑にいくよう整備した。

⑨財務事務等の適正執行	財務事務等の適正執行及び不適切経理処理の防止。	今年度の財務事務調査指導結果を共有し、改善策を確認した。また、財務の適正な執行に向け、職員の意識を高め、私費会計基準に則った事務処理、物品管理に努めた。
-------------	-------------------------	--

○ 令和6年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和7年度に取り組むべき課題 (学校長意見)

不祥事防止研修会は、職員会議の後に毎回開催し、職員の不祥事防止を啓発しつつ、常日頃において不祥事防止を達成するよう絶えず努めている。不祥事防止への取組を全職員が自分事として受け止めることができるよう、テーマに沿って、各校務グループが担当者となり、不祥事防止研修会を実施した。結果として概ね達成できている。

不祥事の未然防止、早期発見、再発防止のためには、実効性のある対策や対応が求められる。そのためにも、全職員が円滑なコミュニケーションを図り、風通しのよい職場づくりが重要となる。一人ひとりが、教育公務員としての使命と倫理観を自覚し、不祥事に対する当事者意識を持ちながら、「絶対に不祥事を起こさない」という強い意思を持って行動すること、また、不祥事を未然に防止する職場づくりを推進していく。

令和7年度は若手教員を含め、職員がかなり一新される。引き続き、一人ひとりの当事者意識を醸成し、不祥事防止に努めていきたい。